Jxiv

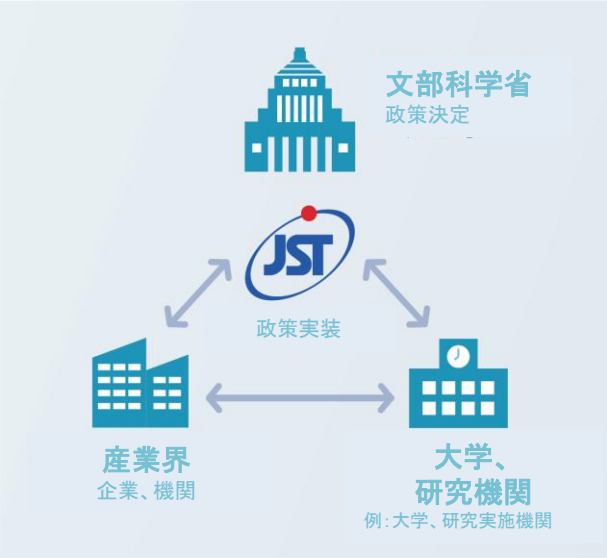
ジェイカイブ

Soichi Kubota
Department of Information Services
Japan Science and Technology Agency

科学技術振興機構

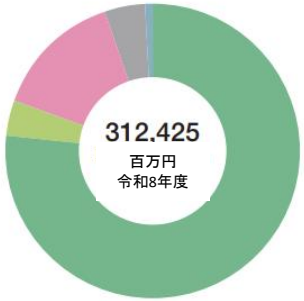
2026/11/5

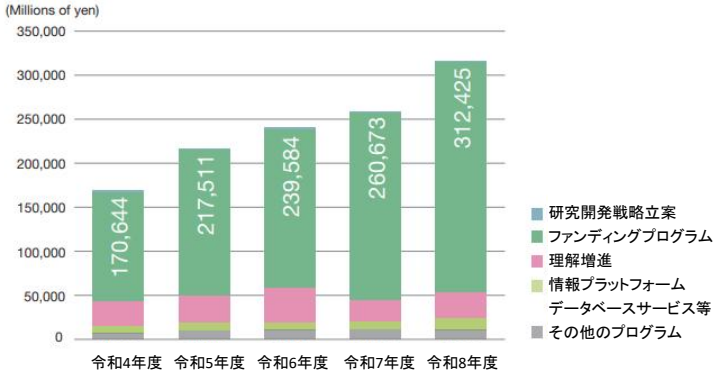
JSTについて



第5期中長期計画(令和4-8年度)

■ 支出





Funding programs 82.9%

As a network-based research institute, JST promotes research and development leading to innovation and address economic and social issues throughout the implementation of research results and International joint research projects.

- Strategic Basic Research
- International Collaborations
- Industry-Academia Collaboration and Technology Transfer

Public engagement 9.1%

Promoting dialogue with various stakeholders toward co-creation of a future society, JST also fosters next-generation of talent in the fields of S&T as well as human resources who can contribute to S&T innovation.

- Promotion of "Science in/for Society"
- Fostering the Next Generation Human Resources
- Miraikan

R&D strategy planning 0.4 %

Throughout dialogue with stakeholders and data analysis, JST formulates R&D strategies toward the future.

Information platform and database services, etc. 4.1%

Other programs 3.5%

日本のオープンサイエンス政策（時系列）

(年度)

2011 — *第4期科学技術基本計画(2011-2015)*：オープンアクセスの推進

2016 — *第5期科学技術基本計画(2016-2020)*：オープンサイエンスの推進

2021 — *第6期科学技術・イノベーション基本計画(2021-2025)*

新たな研究システムの構築（オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進）
- 信頼性のある研究データの適切な管理・利活用促進のための環境整備
- 研究DXを支えるインフラ整備と高付加価値な研究の加速
- 研究DXが開拓する新しい研究コミュニティ・環境の醸成

2021 — 総合科学技術・イノベーション会議 *(CSTI)*「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」

2026 — 総合科学技術・イノベーション会議 *(CSTI)*「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」

第7期科学技術・イノベーション基本計画(2026-2030)

2022年3月24日よりJxiv（ジェイカイブ）始動

https://jxiv.jst.go.jp/

- プレプリント（査読前論文）にDOIを付与し、オープンアクセスで公開
- 分野を問わない、日本語、英語のプレプリント公開
- 投稿者はresearchmapまたはORCIDのIDを所持する研究者に限定

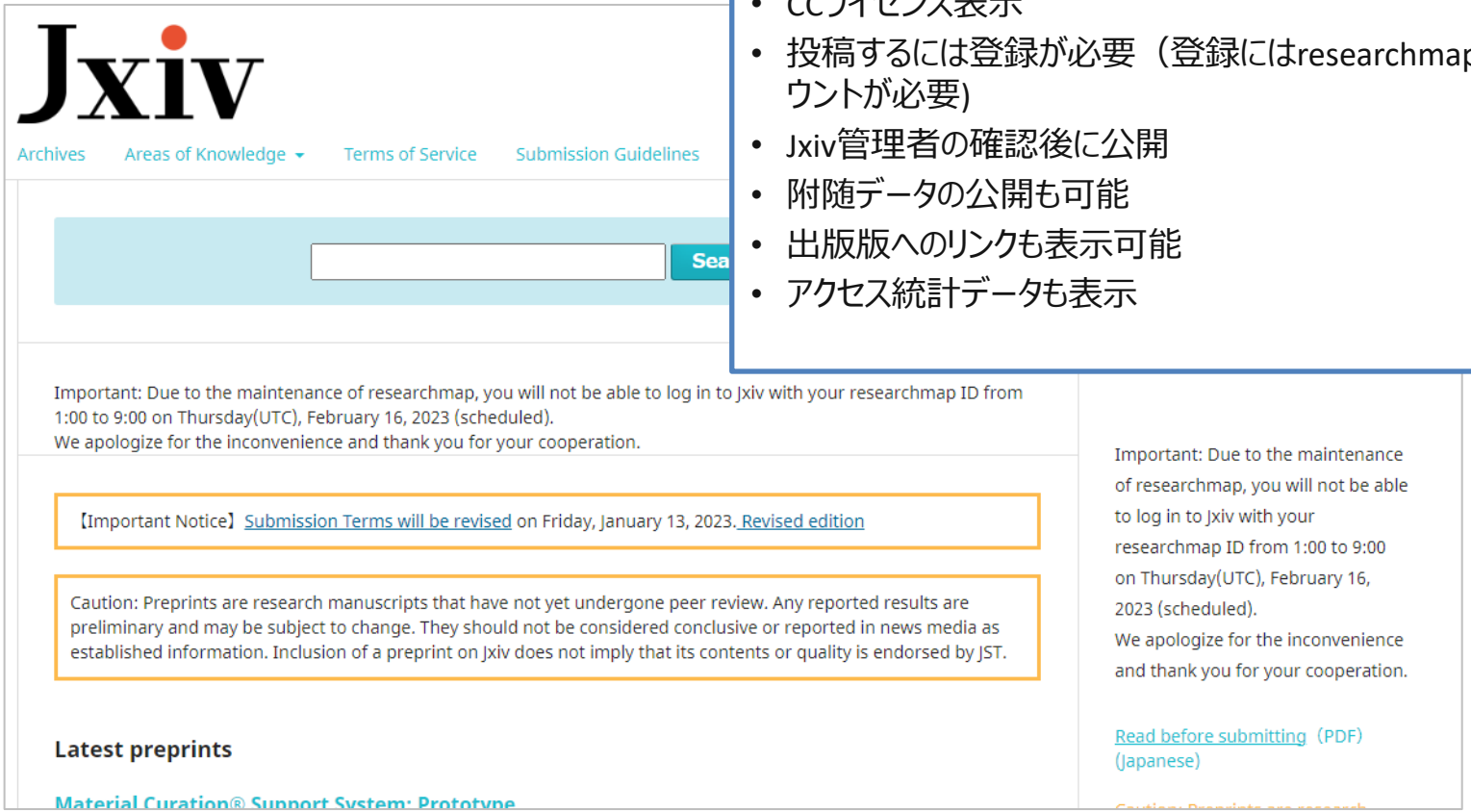
背景:

- 新型コロナ感染症研究の急速な拡大に伴い、プレプリントによる研究成果発表が普及
- 日本からの公開プレプリント数は比較的少数
- 課題：プレプリントの基本的なチェック
- 資金的困難により他国のプレプリントサーバが運用停止

- 時間を要するジャーナル出版プロセスを補完することで研究成果の早期実用化につなげる
- 国内プレプリントサーバにより日本からの発信を後押し
- 国の支援によるプレプリントサーバの継続運用を可能とする
- 緊急課題に対する迅速な議論を行うフォーラムとしての機能
- オープンアクセス政策への貢献

https://jxiv.jst.go.jp/

- 閲覧はアカウント不要で無料で誰でも可能
- 日本語・英語インタフェース
- CCライセンス表示
- 投稿するには登録が必要（登録にはresearchmapまたはORCIDアカウントが必要)
- Jxiv管理者の確認後に公開
- 附随データの公開も可能
- 出版版へのリンクも表示可能
- アクセス統計データも表示



プレプリント要件 (抜粋)

(1)研究内容に関する要件

a.プレプリントにかかる研究が、倫理的要件に従って遂行されていること。特に、以下の手続き等を要する研究の場合には、その内容がプレプリント内において明示されていること。

(a)研究倫理委員会から承認を得ていること。

(b)研究参加者又は研究対象者から必要なインフォームドコンセントを取得していること。

b.プレプリントにかかる研究が、当該研究分野において標準とされる適切な慣行に従って行われていること。

c.研究の根拠となるデータ、プログラム、及びその他のコンテンツが参照可能であること。

d.科学的な手法・論理を用いた、科学的な論文であること。

e.原著論文においては、研究の新規性が認められること。

プレプリント要件 (抜粋)

(2)プレプリントの内容に関する要件

a.ジャーナル等に投稿する前、あるいはジャーナル等に投稿された場合は、査読結果を受けて改訂する前の論文（原著論文、レビュー論文、解説論文等。論文の体裁をなしている講義録も含みます。）であること（但し、投稿者の責任において、査読コメント等を提供したジャーナル等の許諾を得た場合にはこの限りではありません。）。

b.全てのプレプリントにおいては、オリジナリティが認められること。

c.先行研究を踏まえて学術的あるいは技術的位置づけが明確に示され、論理が合理的に展開されていること。

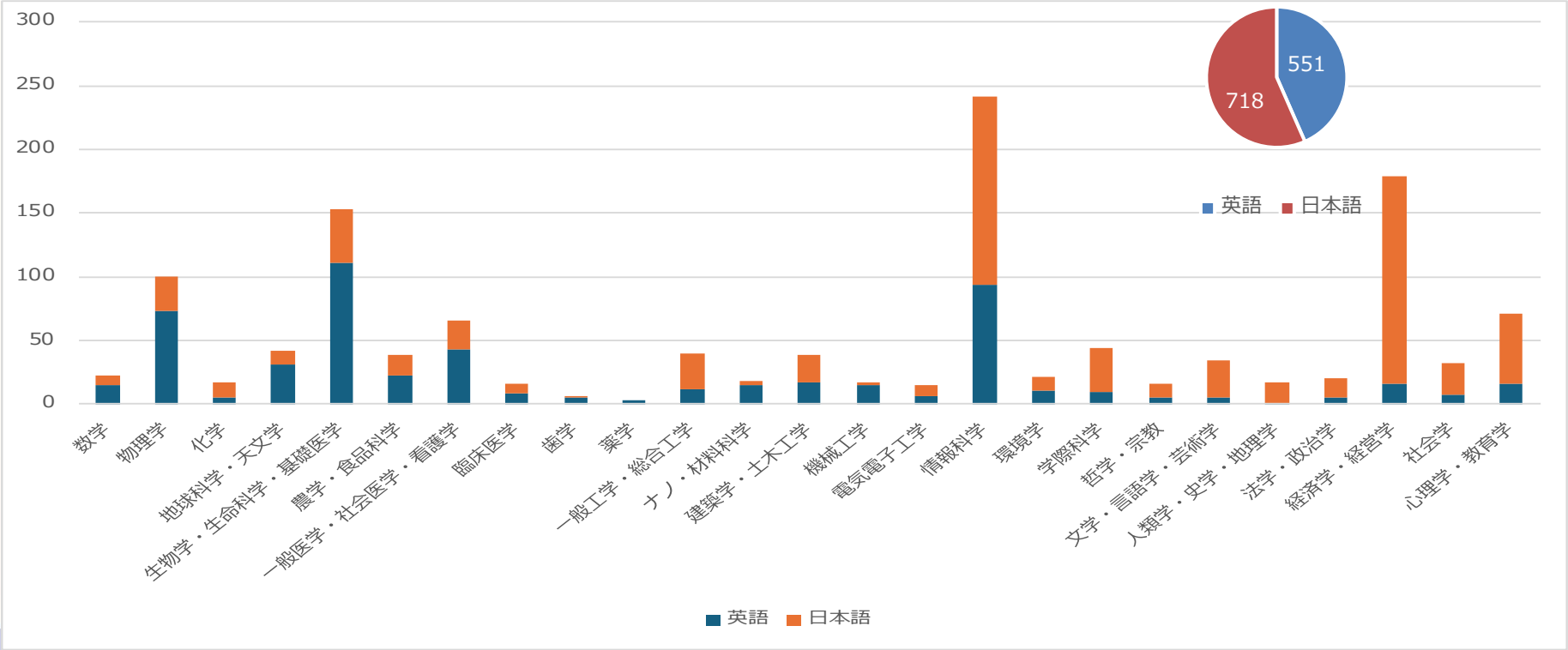
d.人工知能（AI）等を用いた汎用プログラムその他自然人でないものが作成したものではないこと。また、著者が、プレプリント執筆にあたり人工知能（AI）等を用いた汎用プログラムを利用する場合には、使用方法などの情報をプレプリント中に明記すること。

e.人工知能（AI）等を用いた汎用プログラムが行った作業については、その内容・出典などを含む全てについて、著者が全責任を負うこと。

f.Jxivを含むプレプリントサーバあるいはジャーナル等の出版者において既に公開されている論文（以下、「原版」といいます。）の翻訳版でないこと（但し、後記に従って一定の例外については本投稿サービスを利用することができます。）。

統計データ

2026/10/1時点の分野別公開プレプリント数



課題

- 2025年12月頃より投稿が急増している。生成系AIを使用したと思われる投稿が増加している模様。
  - ✓ 投稿の急増にどのように対応すればよいか

- スクリーニング負荷もそれにつれて増加している。
  - ✓ スクリーニングをどのように効率化すればよいか

広報活動

プレプリントサーバで公開するとジャーナルが受け付けてもらえないのでは、という著者の懸念を払拭するためプレプリントサーバ公開論文を受け付けているジャーナルのリストを公開している。

Jxiv

Archives　Areas of Knowledge　Term of Service, Submission Guidelines, Ma

Home / Announcements / Journals that allow submission of papers published in

Journals that allow submission of papers published in preprints(updated September 28, 2026)

2022-07-04

111ジャーナル（日本の学会等発行誌）
(2026年9月28日時点)

anuscript.

s published on Jxiv and other preprint servers. (This list will be updated as needed. 111 journals as of September 28, 2026.)

This list is not exhaustive; to confirm a particular journal's preprint policy, please consult the journal website and/or Instructions to Authors.

- AAOS Transactions(*)
- Acoustical Science and Technology
- Advanced Biomedical Engineering
- Advances in Resources Research(*)
- Allergology International

Language

日本語

English

Journals that allow submission of published in preprints

Caution: Preprints are research manuscripts that have not yet undergone peer review. Any repo results are preliminary and may b subject to change. They should n considered conclusive or reporte news media as established inform Inclusion of a preprint on Jxiv doe imply that its contents or quality i endorsed by JST.

Japar

開発法人 技術振興機構 and Technology Agency

日本のオープンサイエンス基盤としての役割

Jxivは機関リポジトリを持たない研究者の方の機関リポジトリとしての役割も持っています。

「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」（総合科学技術・イノベーション会議 (CSTI)。令和6年2月）[*1]に基づく「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針の実施にあたっての具体的方策」（ 関係府省申し合わせ。令和6年2月公開、10月改正）[*2]
においてJxivの機関リポジトリとしての役割が記載された。

[*1]https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_240216.pdf
[*2]https://www8.cao.go.jp/cstp/openscience/r6_0221/hosaku.pdf

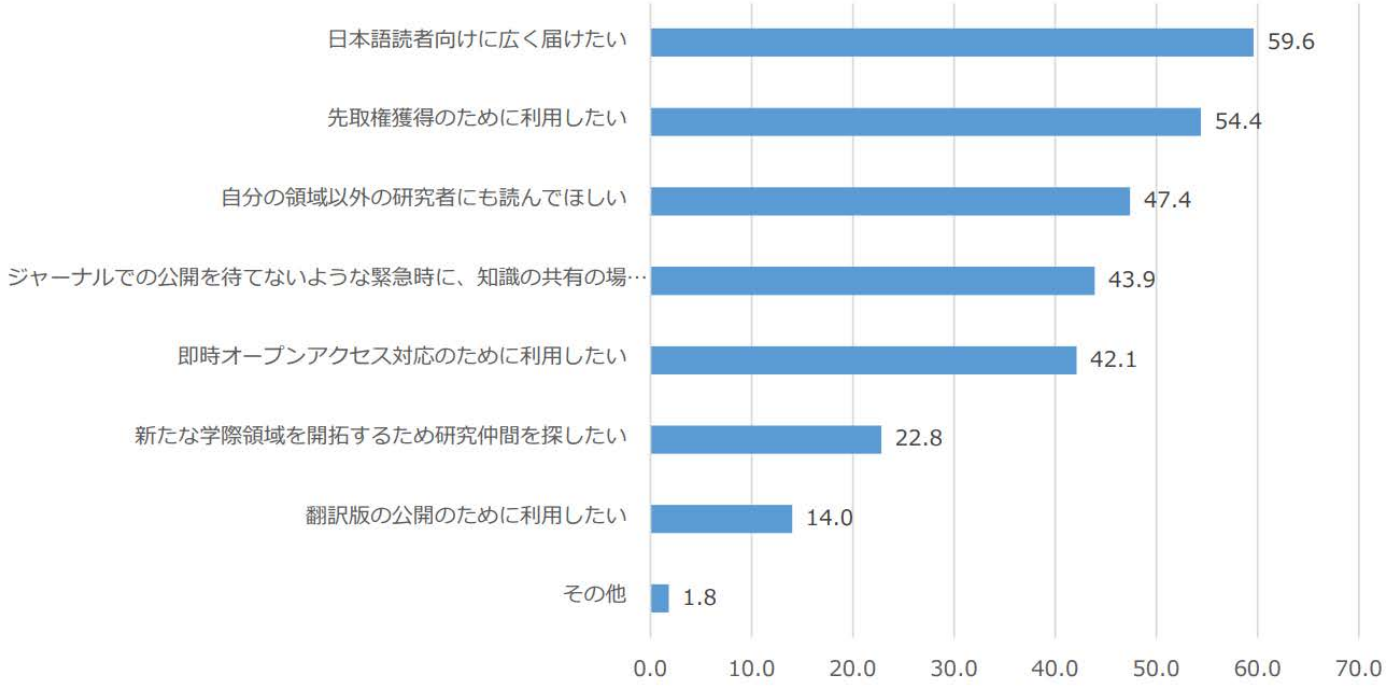
※投稿先のジャーナルが機関リポジトリでの著者最終稿等の公開をどのタイミングで許諾するかの確認が必要です。

Jxiv投稿者アンケート結果(利用者満足度調査2025)

■研究活動の中で、Jxivをどのように利用したいと思うか

n=57

単位：%



ご静聴ありがとうございました

Thank you for your attention!